

令和2年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	120	すみだの多彩な魅力を内外に発信し、成熟した国際観光都市をつくる
施策	122	区内の観光資源を連携させ、楽しめるまちをつくる
施策の目標	区内に点在する観光拠点・資源の連携により、観光地としての魅力が向上するとともに観光プログラムが充実し、多くの人々がすみだを訪れ、まちがにぎわっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	観光客による区内観光施設等の平均立寄り地数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					3.5箇所					4.0箇所
実績										
指標名	区内における来訪者の観光消費額推計									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					4,500億円					4,750億円
実績										

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
両国観光案内所の来場者数が着実に増加している。両国地域の観光資源を数多く回ってもらい、長時間滞在することで消費活動につなげていくため、観光資源を連携させ、まち歩き観光を推進する必要がある。	H29	4,000
	H30	9,988
	R1	817

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	オリンピック・パラリンピック開催後においても、多くの方が両国へ観光に訪れまちが活性化するよう、引き続き観光まちづくりを推進する。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
平成31年度より、地域の取組みを支援する仕組みとして、墨田区観光協会(DMO)を中心とした地域主体の活動へ移行、区はその支援を担っているため。	
【今後の具体的な方針】	
地域の取組みを支援するため、引き続き、墨田区観光協会との連携による観光まちづくりを推進する。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
					評価対象年度	
1	両国地区まちづくり事業	817	4,369	5,186	2,037,000	改善・見直しのうえ継続
					1,566,500	令和元年度
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	エリア懇談会、地域連絡会等の開催				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		0	R2	目標	11	11	10	0
				実績	11	10	7	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標							
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	エリア懇談会や地域連絡会等を開催し、地域の方々の意見を伺いながら、地域の魅力を高めるための取組を行っているため。なお、令和元年度以降は、墨田区観光協会(DMO)を中心とした地域主体の活動へと移行し、区はその支援を担う立場となるため、目標年度に向かって開催回数は減少していく。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	両国エリアの主要観光施設入込客数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
2,037,000		R2	目標	1,864,000	2,037,000	2,037,000	2,037,000	
			実績	2,330,966	1,545,923	1,642,396	1,566,500	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	2,037,000	2,037,000	2,037,000	2,037,000	2,037,000	2,037,000		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
両国観光まちづくりブランドデザインの推進により、両国地域の観光資源が区内外へPRされ、両国を訪れる観光客数が増加していくことを見込んでいるため。 平成29年度は、江戸東京博物館改修工事に伴い一時閉館していたため、実績数が減少している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	これまでは行政主体による活動が主であったが、今後は、地域主体による活動へと移行する時期に到達していることから、墨田区観光協会(DMO)を核とした支援体制を構築・運用していく。

課題・問題点
2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、地域主体による取組を支援するとともに、墨田区観光協会(DMO)を中心とした支援体制の円滑な運用を図る。